

## 一般社団法人日本人間工学会第 18 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 24 年 10 月 30 日（火）15:30～17:45
2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2 階 524 会議室
3. 出席者：
  - ・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)
  - (理事) 青木和夫(理事長・学術・企画・ウェブアクセシビリティ支援委員長), 酒井一博(副理事長・学会組織検討委員長・企業の人間工学教育のあり方検討委員長), 榎原毅(広報), 大内啓子(総務), 大久保堯夫, 大須賀美恵子(編集), 河合隆史(企画・IEA), 小谷賢太郎(国際), 酒井正幸, 三林洋介(財務), 津久井一平, 土屋和夫, 徳田哲男, 堀江良典(総務・第 54 回大会長), 松岡敏生, 三宅晋司(財務), 矢口博之, 吉武良治(人間工学専門家認定機構長) [18 名]
  - (理事兼支部長)横山真太郎(北海道), 北村正晴(東北), 斎藤真(東海), 森本一成(関西), 村田厚生(中国・四国), 和田親宗(九州・沖縄) [6 名] [計: 24 名]
  - (欠席者)福田康明, 芳賀繁(安全人間工学委員長), 阿久津正大(関東・表彰)
  - ・監事: 赤松幹之
  - ・オブザーバー: 藤田祐志(IEA), 横井孝志(ISO/TC159 国内対策委員長), 梶原裕(第 53 回大会長), 鳥居塚崇(第 54 回大会事務局)
  - ・事務局: 栗田紀子, 青木彩

冒頭、青木理事長より理事新体制に伴う活動方針等について挨拶があった。

#### 4. 議事概要

定足数 14 名を超える 24 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、赤松幹之監事のほか、酒井一博理事が指名され、承認された。

##### 【審議事項】

- (1) 第 1 号議案 投稿規程の改定について  
大須賀編集委員長より、電子投稿への対応状況報告と、投稿規程における電子投稿、参考文献の表記法、図の肖像権の追記について提案があり、審議を経て承認された。
- (2) 第 2 号議案 一般社団法人日本人間工学会認定人間工学専門資格制度に関する規程について  
吉武機構長より専門家規程の一部変更と、準専門家およびアシスタントの規程案を新たに作成した旨報告があり、審議を経て承認された。
- (3) 第 3 号議案 2014 年の第 55 回大会長について  
青木理事長より、2014 年第 55 回大会の大会長と開催場所を次回理事会で決定するため、開催場所等について検討するよう要請があった。なお、第 55 回大会は JES50 周年にあたるため、記念行事も大会時に行う。

#### (4) その他

・今後の理事会日程について

青木理事長より第 19 回から第 21 回理事会について開催日程と会場について提案があり、審議を経て承認された。

## 【報告事項】

### (1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 16 回理事会議事録、平成 24 年定時社員総会議事録、第 17 回理事会議事録

堀江総務担当理事より、メール審議を経て、第 16 回理事会議事録、平成 24 年定時社員総会議事録、第 17 回理事会議事録が確定した旨報告があった。

(1-2) 会勢報告(9 月末)

2012 年 9 月末現在、会員数 1665 名、賛助会員 33 社 34 口。

○会員数の減少について、

4 年以上会費未納入の会員 187 名に対して、財務担当理事名にて会費納入願い書を振込用紙とともに送付した。期限までに退会届の提出があった人、返信がなかった人を含め 173 名を退会扱いとしたとの説明が堀江総務理事よりあった。

### (2) 財務報告

三林財務担当理事より、9 月度（上半期）の収支報告があった。

### (3) 第 53 回大会報告

柘原大会長より、502 名の参加を得て大会が終了した旨報告があった。なお、講演集の原稿は J-stage に掲載が完了した旨報告があった。

### (4) 第 54 回大会準備状況

鳥居塚大会事務局より、順調に準備が進んでいる旨報告があった。

### (5) 担当・委員会報告

#### (5-1) 広報委員会

榎原委員長より今年度の活動方針と計画および、進捗状況について報告があった。

・ GPDB の表彰制度はインパクトが大きいため、今後も継続する。

・ JES ウェブサイトリニューアルでは、人材 DB の仕組みを準備中。理事会メンバーと CPE メンバーに協力を要請し、パイロット的に運用したうえで、正式公開する予定。また、このシステムを使用して、電子投稿システムの開発を編集委員会と連携して行う。

・ 学会ロゴ規程の整備を今年度中に行う。

#### (5-2) 編集委員会

大須賀委員長より以下の報告があった。

・ 第 48 巻 4 号、5 号を発行。

・ 年間論文採択率は約 50%。平均査読期間は採択論文については約 155 日であるが、分散が大きいため、長い査読であっても 5 か月以内に収まるようにする。

・ 運営体制として、主査は編集委員が行うものとし、副査は査読者として専門領域の方に依頼する。主査と副査のネーミングについては、今後検討。

・ 編集委員会の審議により採否の最終判断を行う。さらに、最終ゲラの念校は委員長と副委員長でチェックを行う。

- ・査読プロセスを電子化するとともに、オンライン投稿、査読管理システムが開始できるよう広報委員会と連携し進める。
- ・論文投稿促進策として、支部大会・全国大会での優秀発表に対して、編集委員会から投稿推薦依頼を行うため、優秀発表の情報を編集委員会までもらいたい。
- ・投稿チラシを作成したため、支部大会時や全国大会時に配布協力をお願いする。
- ・全国大会の発表における同時投稿（クイックレビュー制度）も検討中。

#### (5-3) 国際協力委員会

小谷委員長より以下の報告があった。

- ・斉藤前理事長がHFES2012年度ハル・ヘンドリック賞を受賞。
- ・10/26にESKの会長等2名が来日し、ACEDのアジア組織を設立し2014年春に韓国で最初のアジア国際学会を開催したいため、JESに参加協力の要請があった。本件に対し協力を了承。

#### (5-4) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、SC、WG、JIS報告があった。JISの見直し調査3件の内、JISZ8518:1998は改正が必要となった旨報告。

#### (5-5) 学術担当

青木理事長より以下の報告があった。

- ・機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦依頼に対して、小谷理事と赤松監事を推薦した。
- ・横幹連合第4回総合シンポジウムを11/1、2に日大生産工学部で開催する。

#### (5-6) 企画担当

河合理事より、JES 公開講座を12/1の関東支部大会（埼玉県立大）において「人間工学へのご招待—マンホールの蓋はなぜ丸い」というテーマで徳田哲男氏により開催。また、10/26にシンポジウム「3Dテレビに関する取り組みと今後の展開」を主催。

#### (5-7) 人間工学専門家認定機構

吉武機構長より、以下の報告があった。

- ・専門資格登録者と、準専門家試験結果。
- ・CPEセミナーを10/17に(公財)鉄道総合技術研究所で開催。
- ・会報 Vol. 32 を8/1に発行。
- ・8/29にAPCHI2012においてセッション発表を行った。また、関東支部大会12/1において企画セッションを開催。

#### (5-8) 学会組織検討委員会

酒井委員長より、以下の報告があった。

- ・学会組織検討委員会設置の経緯と、委員会の任務について改めて説明があった。
- ・委員会組織の構成メンバー11名とオブザーバー4名を報告。
- ・10/30に第1回委員会を開催。今後はメール審議等により、1)学会組織の望ましいあり方、2)代議員および役員の再任と選出方法、3)定款変更案作成、4)選挙規程改正案の作成を行う。

#### (5-9) ウェブアクセシビリティ支援委員会

青木委員長より、IEA ウェブサイト作成について、ほぼ予定通り進んでいる旨報告があった。また、藤田(IEA)オブザーバーより、11月末までには全体が動く予定である旨説明があった。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

横山支部長より、11/10 に北海道工業大学で支部 40 周年大会と支部総会を開催する旨、報告があった。

(6-2) 東北支部

北村支部長より、11/24 に支部研究会を山形にて開催する旨、報告があった。

(6-3) 関東支部

三林理事より、12/1、2 に埼玉県立大学にて支部大会と支部総会を開催する旨、報告があった。

(6-4) 東海支部

斎藤真支部長より、10/27 に名城大学にて横森大会長のもと支部大会を開催した旨、報告があった。

(6-5) 関西支部

森本支部長より、以下の報告があった。

・支部企画委員会で出された本部への提案と要望 3 点を報告。

i) 人材育成プログラムの作成。

ii) 人間工学の組織活性化のため、企業と大学のディスカッションの場等を作れないか。

iii) 企業が作成したモノに対して評価・認定してくれる場を作れないか。

・12/8 に関西支部大会を開催する。

(6-6) 中国・四国支部

村田支部長より、12/15 に川崎医療福祉大学にて第 45 回支部大会を開催する旨、報告があった。

(6-7) 九州・沖縄支部

和田支部長より、11/17 に西日本工業大学で支部大会を開催する旨、報告があった。

(7) 協賛等の依頼

・協賛等の依頼は 18 件。安全工学シンポジウム 2013 について、協賛金 2 万円を支出した旨、議長より報告があった。

(8) その他

・矢口理事（表彰委員会）より、メール審議にて承認を得た優秀研究発表奨励賞受賞者に対して、賞状発送が完了した旨、報告があった。

5. 閉会

以上の議事を終え、17 時 45 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 24 年 10 月 30 日

議 長 青 木 和 夫<sup>Ⓞ</sup>

議事録署名人 酒 井 一 博<sup>Ⓞ</sup>

議事録署名人 赤 松 幹 之<sup>Ⓞ</sup>